

令和5年度 第1回むつみ会委員会 記録

期日 7月1日(土)

会場 視聴覚室

1 会長挨拶

松山 会長

2 第1回「親の学び講座」 14:00~15:20

演題 「学校を取り巻く環境の変化とこれからの教育」

講師 林 誠一 氏

(富山大学大学院教職実践開発研究科 教授)

講演要旨

① 教育のこれまで：7回にわたって改訂された学習指導要領の変遷について

② 教育の今：現在の新しい学習指導要領について。

教科書から「何を学ぶか」から追加して「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」とこれまでの教員主体から子どもを主体にした今までにない改革。特に大切なメッセージとして「社会に開かれた教育課程の実現」とでている。学校は閉じた世界ではなくいろんな人と作り上げた社会、開かれた場にしなければならない。

(途中対面で意見交換し知識を深めるアクティブラーニングを参加者も体験してもらいました)。

③ 教育のこれから：急激に変化する時代において

今後の日本は高齢化、人口減、多様化する中これから生きる上で必要な教育が進められている。「読解力」「情報活用能力」を高め、「ICTの活用」が柱になっている。ICTは自分で考え問題を解決する力を育むツールである。コンピューターは手段で目的は子どもにどんな力をつけさせてあげるかである。家庭でも子どもたちが今、学校でどんなことを学んでいるか聞いて関わってほしい。

④ 学校教育と家庭・地域のかかわり：地域・家庭と学校は子どもを支える両輪

県のPTA連合会では「子どもは家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨いていく」が基本理念となっている。

学校での学びが大きく変わろうとしている。教育の変わり目に大人の意識が追い付いていないのではないかと思う。大人の意識が変わっていかないと教育全体も変わっていかない。



<質疑応答>

Q：保護者と先生や学校が教育について同じ方向に向かっていくには具体的にどうやっていけばよいのか？

A：このような保護者の勉強会がある学校は他にはない。高校になると PTA 活動が疎遠になるが、このような勉強会に参加したり、学校を見に行ったり、先生と話をしたりしてほしい。自分の子どものことを考えるといろんな思いがあるが、それだけでなく将来的に全体として学校がどうしていけばいいか議論する時間が増えてほしい。本音で話せる関係や機会を学校と作ってもらいたい。

3 第1回むつみ会委員会 15:30~16:00

(1) 校長挨拶

佐野 友昭 校長



(2) 本校の進学状況について

後藤 清美 進路指導部長

○本校の進学状況と今後の大学進学について

- ・今春の進学状況について
- ・今後の大学進学について
- ・入試に求められる力とは

(3) 部活動活動状況、2学期の学校行事について

村山 和夫 特活部長

・部活動加入状況、その他の体育文化活動部について

加入率：90%前後

そのうち、その他の体育文化活動部に所属し活躍している生徒も含まれ、柔道、空手、体操、フェンシング、吟詠剣詩舞など多岐にわたる活動にも対応している。

・インターハイ、全国高等学校総合文化祭について

・今後の学校行事について

野球応援、体育大会、文化活動発表会

(4) その他

第2回むつみ回委員会、「親の学び講座」について

日時：12月2日(土)

講師：後日連絡

(4) 閉会のあいさつ

池田 副会長